

5知識人アッピールを悪用した6.15分裂行動の破綻！

分裂主義者に止められた五知識人のアッピール
——古庄由重氏不参加を表明——

ベトナム侵略に反対してたたかいを呼びかけた五知識人アッピールは一部の分裂主義者によって著るしくその趣旨が歪曲され、呼びかけた運動の実行が不可能になつています。特に一部の集団（例えば市大統一会議両派、革フル等）がこの行動に参加するか、否かを「セクト主義であるかないか」の問題にすりかえ、呼びかけを最大限、反共攻撃に利用してきます。このような状況のもと五知識人アッピールを堅持して斗かってきた古庄由重氏は、当初の趣旨と著るしく内容がちがつてきており、これでは、その行動に広範な人々が参加できなくなつてきており、責任をもつことができないとして、不参加を表明しました。古庄氏の不参加によつて、五氏のアッピールは存在しなくなりました。

労音、音楽センター、日本科学者も参加できないことを表明
——存在しなくなった十一文化団体の呼びかけ——

五氏の呼びかけに心をて共同の呼びかけを行ひ、てきた十一の文化団体のうち、労音音楽センター、日本科学者も呼びかけが民主勢力の一つである民青に対する攻撃に便りあり、その人達が参加できなくなつてきていることは、呼びかけの趣旨に大きく反するし、責任がもてない不参加表明をします。これによつて十一文化団体の呼びかけも存在しなくなりました。

アッピールを最大限反共攻撃に利用してきて
分裂主義者

統一会議（主統派、民学同派）革新G、全学連派の人たちは、6.15の取組み意義、課題、参加団体をそれぞれババに宣伝し、主に「民青全学連のセクト主義」という攻撃を行つていきます。しかも彼らは、五氏の呼びかけを全く尊重せず、わい曲し、それぞれの派閥の利害のためだけに最大限利用し、全学連統一派を攻撃しています。今回の古庄氏、三文化団体の不参加表明は、彼らのとつて行つた斗争の分裂と破壊をもたらすものであつたことを物語っています。これまで彼ら等統一会議（主統派、民学同派）革新G、全学連派の人たちは「どこか行つたなら」ということを最大の統一行動の位置づけにし、市大全学生の立場、団結をわれわれ学生をひきまわしてました。このことは、五氏のアッピールの趣旨とも大きく反するものであつたことが今回の問題と明確になつていきます。

重要な課題となつていゝる大阪空襲軍事使用反対の6.2大阪2万人集会を成功させよう

今大阪の民主勢力は四月以来空襲軍事使用重視して斗かつてきた。

大阪空襲の軍事使用に反対する闘い
6.2統一行動の成功めざし一致に
闘いを進めています。重大なる侵略加担に反対する闘いを一新して全学生が闘いぬきましょう。

全学区



学部区



全学連統一派